

LAMP

MonoFlat LIN-X hinge.
モノフラット LIN-X1000

扉・ハンドル設計の
注意事項

Motion Design Tec.
モーションデザインテック

扉の設計範囲

| | | | |
|-----|-------------|----|---------|
| 扉幅 | 750~1100mm | 扉厚 | 24~40mm |
| 扉高さ | 2400~2980mm | 重量 | 20~90kg |

各寸法設定の注意

- ① 適切な扉幅、ハンドル幅、ハンドル取付位置、目地幅を設定しないと、枠と扉が干渉し正常に作動しません(図1)。
- ② ハンドルは、扉幅と吊元目地をもとに、表1の範囲内に取付けてください。

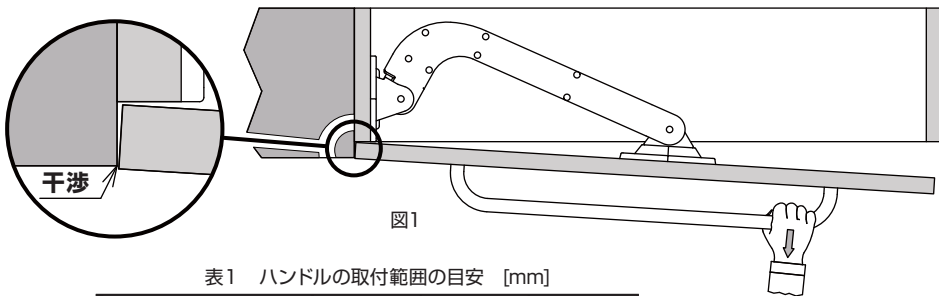


図1

表1 ハンドルの取付範囲の目安 [mm]

| 扉幅 | 吊元目地 | 10 | 15 | 20 |
|-----------|------|-------|-------|-------|
| 750~900 | | 300以下 | 350以下 | 500以下 |
| 900~1000 | | 200以下 | 250以下 | 400以下 |
| 1000~1100 | | 100以下 | 150以下 | 300以下 |

※扉厚40mmの時。
※左記の取付範囲は、扉幅の中心が基準です。

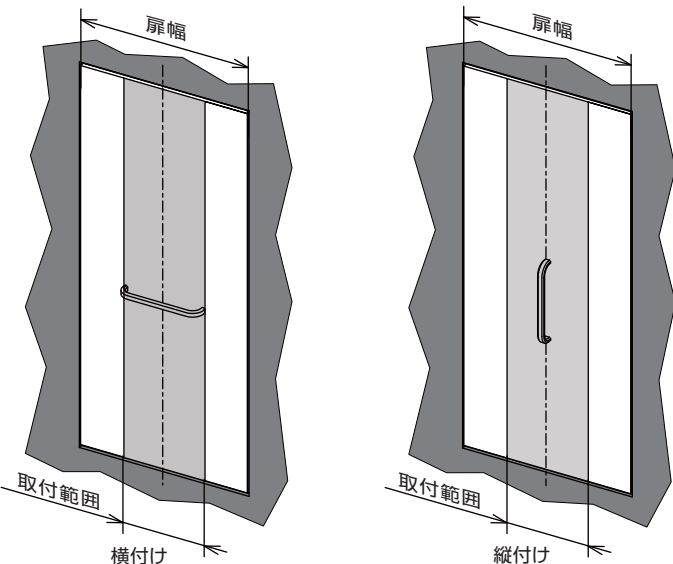


図2 ハンドルの取付例

SUGATSUNE

扉の開き方

本製品は、以下の開き方が可能です。吊元側の目地と、先端側の目地(10mm)を設けてください。

● 左開き

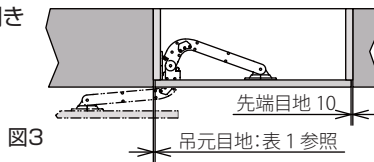


図3

● 右開き

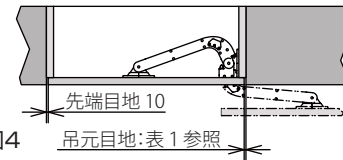


図4

● 左右開き

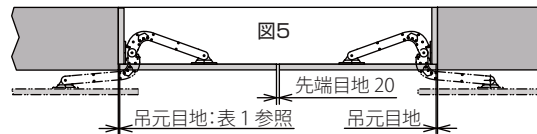


図5

● 左右開き(コーナー)

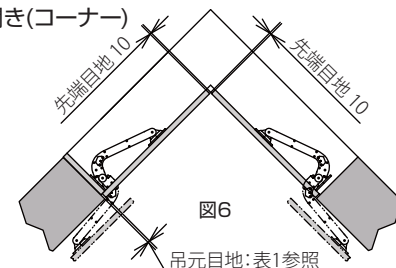


図6

その他の施工については、弊社営業担当者までお問い合わせください。

枠(筐体)・扉の製作について

- ① 枠(又は筐体)、扉は反りやねじれがなく、平行、直角に製作してください(図7、8)。
- ② 枠(又は筐体)は、扉の施工後に傾かないように、壁などに確実に固定してください(図7、8)。
- ③ 本製品は、扉重量90kgまで使用できる重量扉用ヒンジとなっております。筐体(枠・壁)の吊元の強度と連結強度を十分確保してください。強度不足が案じられる場合には、アルミフレーム(別売り 溝ピッチ120mm)をご使用ください(図9、10)。

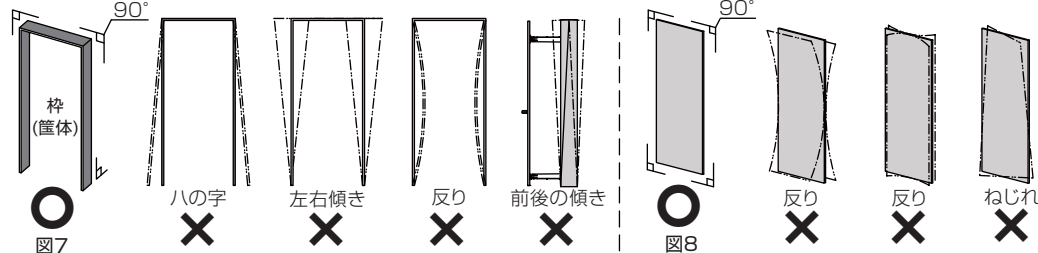


図7

図8

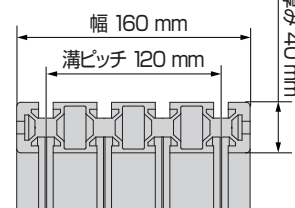


図9 アルミフレームのサイズ

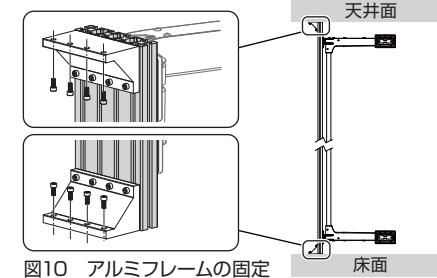


図10 アルミフレームの固定

ハンドルの形状と幅の制限

- ① ハンドルを横に取り付ける場合のハンドル幅は、表1の範囲内で選定してください。



図11

握り込みハンドル

本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口にお問い合わせください。

電話番号 03(3864)1122

受付時間 月~金 9:00~17:30 (年末・年始・夏季休暇等は除く)

FAX 03(3863)6875

E-mail: support@sugatsune.co.jp

東京都千代田区若本町2-5-10 〒101-0032

SUGATSUNE スガツネ工業
LAMP 目の機能&デザインを創るメーカー

ISO 9001 (JSAQ384)・ISO 14001 (JSAE597) 審査合格
※ISO9001:国内各拠点 ※ISO14001:千葉工場および静岡事業所 製造センター
http://www.sugatsune.co.jp/